

## 学生のレポート（要旨抜粋）

李白酒造さんは昔からの伝統を守り、杜氏さんが作っておられるものだと思っていた。しかし、従業員や効率などのことを考え、機械を利用していることを聞いて驚きだった。一番の疑問が、これまで行われていた技法から変わるために、李白さん独自の良さなどが失われるのではないかということだった。しかし、データを集めてそこに近づけていることを聞いて、新しい技術ではあっても元々の味に近づけることができる技術のすばらしさと、こだわりをもって作られている社長の姿が印象的だった。海外進出に関しても、日本酒の味がわからず受け入れてもらえないところは、その国に受け入れられるものに変えていくのではなく、受け入れてもらえるところにだけ販売していらっしゃることを聞き、販売している品物に対する自信と誇りを感じた。現在は地方創生といわれることが多いが、それを成していくためにも、地元のを大切にし、自信と誇りを持つことが大切だと思う。これは両方ともに通じるものだと思う。大きなことにチャレンジされている方は、しっかりとした軸をお持ちだと思う。私もこれから就職していくが、そこにおいて目的、夢をもって取り組んでいきたい。

松江の特産農産物に対しても市の方から講演していただき、こうした農産物を由志園さんのように地域発展、振興に活用していき、一次産業から三次産業まですべてが潤うような社会になることが理想だと感じた。それらのことは我々若者が今後担っていくものだと思う。自ら考え、主体的に行動して国、社会が変わっていく力になっていければと思う。今回は私の将来を考えるきっかけにもなり、非常に良い機会に巡り合えたと感じている。ありがとうございました。